

第9次氷見市総合計画前期基本計画「到達目標(KGI)」と「達成目標(KPI)」の進捗状況一覧(令和6年度)

(1) 目標達成に向けて進捗している(令和6年度実績が基準値より進捗)

◎:令和6年度時点で前期基本計画で設定した目標を達成しているもの

○:令和6年度時点で目標を達成していないが、基準値に比べ改善等がみられるもの

(2) 現時点では政策効果が十分に現れておらず、目標の達成に至っていない(令和6年度実績が基準値を下回っている)

△:令和6年度時点で令和5年度実績からの改善がみられるものの、基準値を下回っているもの

×:令和6年度時点で令和5年度実績及び基準値からの改善がみられないもの

参考資料3

基本目標												
政策												
施策												
主な取り組み	KGI・KPI・指標名	単位	担当課	指標(目標設定)の考え方	基準値	基準年度	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R5→R6 傾向	R6進捗 状況	R8 (最終目 標)
住みたいまち												
	住み続けたいと思う市民の割合	%	未来戦略課	-	79.4	R2	77.9	80.0	66.1	↘	×	85.0
	人口社会増減率	%	未来戦略課	-	△ 0.66	R2	△ 0.52	△ 0.48	△ 0.85	↘	×	△0.31
	若者の転出超過数	人	未来戦略課	-	△1,109 (H28～R2)	R2	△226	△163	△246	↘	×	△436 (R4～R8)
	健康寿命(男性)	歳	健康課	-	79.83	H30	80.13	79.36	79.30歳	↘	×	対前年度比 増
	健康寿命(女性)	歳	健康課	-	85.22	H30	84.60	84.33	83.90歳	↘	×	対前年度比 増
災害に強い安全・安心なまちづくり												
防災・減災対策の充実												
危機管理体制の強化	SNSを活用した情報伝達システムの利用者数	人	地域防災課	防災情報を確実に伝達するため、1世帯に1人以上、市内世帯の半数の登録を目指します。	1,615	R2	7,497	13,761	16,354	↗	◎	8,500
地域における防災力の向上	防災士の資格を持つ人数	人	地域防災課	防災会22地区の118区域に1人以上配置されるよう、毎年25人増員することを目指します。	104	R2	138	169	190	↗	○	254
消防・救急救助体制の充実												
消防・救急救助体制の強化	救急覚知から現場到着までに要する時間	分	消防総務課	迅速な救急対応に努め、2019(令和元)年の富山県内の現場到着平均時間を目指します。	8.3	R2	8.0	7.5	8.1	↘	○	7.2
地域の消防力の確保	消防団員数	人	消防総務課	地域における消防力を確保するため、過去5年のうち最多であった団員数の確保を目指します。	726	R2	699	694	685	↘	×	750
災害に強い都市基盤の整備												
土砂災害防止対策の推進	土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)の対策済・着手済箇所数	箇所	ふるさと整備課	災害リスクの軽減を図るため、土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)の対策済・着手済の箇所の増を目指します。	22	R2	27	29	31	↗	○	35
浸水被害防止対策の推進	浸水区域のうち、対策方針を決定した地区数及び事業に着手した地区数	地区	ふるさと整備課	洪水や浸水被害の防止を図るため、対策方針を決定した又は事業に着手した地区数の増を目指します。	3	R2	5	5	5	→	◎	5
	防災重点農業用ため池の改修(県)完了箇所数	箇所	ふるさと整備課	ため池の決壊等の被害を防ぐため、緊急度の高い箇所から整備し、災害リスクの軽減を図ります。	6	R2	9	9	9	→	○	16
雪害防止対策の推進	地域ぐるみ除排雪促進事業における協定を結んだ地区数	地区	道路課	降雪時における円滑な交通を確保するため、地域ぐるみ除排雪促進事業に取り組む協定地区数の増を目指します。	30	R2	38	38	38	→	○	40
安心な日常生活の確保												
交通安全対策の充実	交通人身事故発生件数	件	市民課	交通安全意識の高揚を図るため、交通人身事故発生件数の減少を目指します。	48	R2	34	41	32	↗	◎	32
防犯対策の強化	防犯カメラの設置補助台数	台/年 (累積)	市民課 地域振興課	地域防犯力を高めるため、防犯カメラ設置補助により、毎年度6台増加させていくことを目指します。	26	R2	47	58	71	↗	◎	61
消費者保護対策の推進	消費生活相談解決率	%	市民課	持ち込まれた消費生活相談すべてを解決することを目指します。	100	R2	100	100	100	→	◎	100

基本目標													
政策													
施策													
主な取り組み	KGI・KPI・指標名	単位	担当課	指標(目標設定)の考え方	基準値	基準年度	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R5→R6 傾向	R6進捗 状況	R8 (最終目 標)	
誰もが元気に過ごせるくらしの充実													
持続可能な地域福祉の推進													
地域で支えあう福祉の推進	福祉相談窓口の開設地区数	地区	福祉介護課	地域における包括支援体制を構築するため、福祉相談窓口を毎年度1地区ずつ開設することを目指します。	9	R2	17	19	18		◎	15	
包括的な支援体制の整備と人材の確保	地域福祉活動サポーター	人	福祉介護課	地域福祉の向上を図るため、地域福祉活動サポーターを毎年度30人ずつ増加させ、地域に必要な180人を維持することを目指します。	110	R2	121	128	126		○	180	
介護・高齢者福祉の充実													
高齢者の生きがいづくり推進	住民主体の通いの場の実施箇所数	箇所	福祉介護課	高齢者の生きがいや居場所をつくるため、きときと100歳体操実施箇所数の増を目指します。	94	R2	95	91	91		×	100	
介護予防の推進	65歳以上の高齢者で介護保険の認定を受けていない前期高齢者	%	福祉介護課	介護予防プログラムの普及啓発を図り、認定を受けていない人の割合の増を目指します。	96.1	R2	96.7	96.5	96.8		◎	96.3	
	65歳以上の高齢者で介護保険の認定を受けていない後期高齢者	%	福祉介護課		65.7	R2	68.3	68.4	69.3		◎	66.7	
介護サービスの充実	介護人材就労支援事業によって就労した人数	人	福祉介護課	介護分野の担い手不足を解消するため、介護人材就労支援事業によって就労する人数の増を目指します。	5	R2	5	20	25		○	50	
障害者福祉の充実													
障害者への支援体制整備	主任相談支援専門員配置数	人	福祉介護課	支援困難ケース等への対応を充実させるため、主任相談支援専門員の増加を目指します。	1	R2	3	4	4		◎	3	
自立・社会参加の促進	福祉施設利用者のうち一般企業等に就労した人数	人	福祉介護課	障害者の雇用拡大を図るため、一般企業等に就労した人数を増やすことを目指します。	5	R2	4	5	9		◎	9	
健康づくりの推進													
生活習慣病予防の推進	メタボリックシンドローム該当者の割合	%	健康課	生活習慣病の発症や重症化を防ぐため、メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合の減少を目指します。	26.3	R2	(確定値) 25	(確定値) 25.5	(確定値) 25.8		○	前年度比減	
	メタボリックシンドローム予備群の割合	%	健康課		9.7	R2	(確定値) 9.5	(確定値) 9.1	(確定値) 8.5		◎	前年度比減	
心の健康づくりの推進	人口10万人あたりの自殺による死亡率	%	健康課	メンタルヘルス等の対策を進めることにより、自殺死亡率の減少を目指します。	16.8	R2	14.8	16.1	16.8		◎	16.8以下	
感染症対策の充実	A類疾病(百日咳、風しん、日本脳炎等)予防接種の接種率	%	健康課	様々な感染症の発生やまん延を防ぐため、毎年度、県平均以上を目指します。	95.7	R2	93.52	89.21	(県平均) 91.97) 91.96		△	県平均以上	
地域医療の確保													
地域医療体制の整備	市内医療機関と金沢医科大学水見市民病院における紹介率	%	病院事業管理室	地域医療の充実を図るため、市内医療機関と金沢医科大学水見市民病院とで役割を分担し、連携して取り組むことを目指します。	34.2	R2	25.6	28.3	31.8		△	40.0	
	市内医療機関と金沢医科大学水見市民病院における逆紹介率	%	病院事業管理室		15.8	R2	13.2	14.5	15.2		△	20.0	
	市内医療機関の数	医療機関	健康課	地域医療の水準を保つため、市内医療機関の数の維持を目指します。	48	R2	48	46	45		×	47	
救急医療体制の確保	金沢医科大学水見市民病院における救急常勤医の人数	人	病院事業管理室	救急医療体制確保のため、金沢医科大学水見市民病院における救急常勤医を維持します。	1	R2	1	1	1		◎	1	
社会保障制度の適正な運営													
介護保険制度の適正な運営	介護保険料の収納率	%	福祉介護課	安定した介護保険財政運営を図るため、保険料の収納割合を増を目指します。	99.64	R2	99.72	99.81	99.74		○	99.75	
医療保険制度の円滑な運営	特定健康診査の受診率	%	市民課	医療費の適正化・財政基盤の強化を図るため、特定健康診査の受診率について国の目標値に到達することを目指します。	42.4	R2	46.8	49.3	49.4		○	60.0	
	特定保健指導の実施率	%	市民課	医療費の適正化・財政基盤の強化を図るため、特定保健指導の実施率について国の目標値に到達することを目指します。	28.7	R2	60.7	39.6	44.9		○	60.0	
国民年金制度の周知啓発	国民年金保険料の納付率	%	市民課	国民年金制度の安定的な運営を図るため、全国平均以上である保険料の収納率の維持を目指します。	83.0	R2	87.6	87.2	87.7		◎	83.0	
生活保護制度の適正な運営	生活保護から自立した世帯数	世帯	福祉介護課	生活保護を受ける必要がなくなる世帯を毎年度増やすことを目指します。	3	R2	4	1	1		×	3	

基本目標												
政策												
施策												
主な取り組み	KGI・KPI・指標名	単位	担当課	指標(目標設定)の考え方	基準値	基準年度	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R5→R6 傾向	R6進捗 状況	R8 (最終目標)
快適で住みやすい都市環境の整備												
適正な土地利用の推進												
総合的・計画的な土地利用の推進	公共空地における立地適正化計画に掲げる必要な都市機能誘導施設整備数	施設	都市計画課	計画的な土地利用のため、立地適正化計画に掲げる施設整備の着実な実行を目指します。	1	R2	2	2	2	➡	◎	2
快適な生活基盤の構築												
公園・緑地の充実	水見運動公園内の施設再整備数	施設	都市計画課	幅広い年齢層が利用できる公園の実現のため、施設整備を着実に進めます。	0	R2	0	1	1	➡	○	3
住宅環境の整備	水見市空き家情報バンクへの登録件数	件	未来戦略課	空き家の有効活用を図るため、移住者に紹介できる水見市空き家情報バンクへの登録件数の増を目指します。	21	R2	43	43	57	➡	◎	30
水道水の安定的な供給	水道基幹管路耐震化率	%	上下水道課	水道水の安定供給のため、管路耐震化計画に基づき、基幹管路の耐震化率の向上を目指します。	3.7	R2	3.7	4.7	9.0	➡	○	11.1
生活排水の適正な処理	汚水処理人口普及率	%	上下水道課	汚水処理人口普及率の向上を図るため、150基の浄化槽の整備促進を図ることを目指します。	92.7	R2	93.3	93.6	93.8	➡	○	95.0
利便性の高い道路網の整備												
幹線道路の整備の充実	交通・文化・医療拠点へのアクセス向上を図る道路の整備数	路線	道路課	道路交通の安全性や円滑化を図るため、整備完了した道路の路線数の増を目指します。	0	R2	2	3	3	➡	○	5
生活道路の維持管理	生活道路の整備数	路線	道路課	地域の交通機能を高めるため、整備完了した生活道路の路線数の増を目指します。	0	R2	4	6	7	➡	○	15
	橋りょうの補修完了率	%	道路課	道路機能を維持するため、健全度Ⅲに該当する橋りょうの補修完了率の向上を目指します。	10.3	R2	25.9	29.3	32.7	➡	○	75.9
地域交通網の確保												
地域交通網の確保	バス路線の数	路線	地域振興課	地域交通を維持・確保のため、市内交通網を担うバス路線の数を維持することを目指します。	15	R2	15	15	15	➡	◎	15
	市内のどこかへ行きたいときに、利用できる移動手段があると思う市民の割合(市民アンケート)	%	未来戦略課	市内交通について利便性が高いと感じている市民の割合を増加させることを目指します。	87.7	R2	89.2	87.4	91.9	➡	◎	90.0
人と自然が共生する環境づくり												
循環型社会の形成												
3R・適正処理の推進	家庭系ごみ排出量	↑	環境保全課	循環型社会を形成するため、家庭系ごみの排出量の減少を目指します。	10,076	R2	9,451	9,337	8,824	➡	◎	9,428
	再生利用率(リサイクル率)	%	環境保全課	資源を有効活用するため、再生利用率の向上を目指します。	19	R2	15.5	14.801	14.9	➡	△	23
	年間最終処分量	↑	環境保全課	循環型社会を形成するため、年間最終処分量の減少を目指します。	2,287	R2	2,047	2,441	2,205	➡	○	1,854
環境保全活動の推進												
自然環境の保全	海浜植物園での自然体験教室等の開催回数	回	都市計画課	自然とふれあえる機会を創出するため、海浜植物園による自然体験教室等の維持を目指します。	19	R2	12	19	19	➡	◎	19
	自然保護員の活動回数	回	環境保全課	貴重な野生動植物の状況把握やふれあい活動の推進を図るため、自然保護員の年間活動回数の維持を目指します。	6	R2	8	7	6	➡	◎	5
生活環境・景観の保全	景観重点地区の設定数	地区	都市計画課	水見らしい景観づくりを推進するため、景観重点地区2地区の指定を目指します。	0	R2	0	0	0	➡	×	2
花いっぱいのもちづくりの推進	地域花壇整備数	箇所	都市計画課	緑花の取組みを推進するため、地域花壇が毎年度1箇所整備されることを目指します。	19	R2	21	23	24	➡	○	25

基本目標													
政策													
施策													
主な取り組み	KGI・KPI・指標名	単位	担当課	指標(目標設定)の考え方	基準値	基準年度	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R5→R6 傾向	R6進捗 状況	R8 (最終目 標)	
活気にあふれる地域づくり													
市民によるまちづくりの促進													
まちづくりへの参画意識の醸成 と体制支援 NPO・ボランティア活動等の促 進	地域づくり協議会の設置数	協議会	地域振興課	地域コミュニティの機能を維持するため、市内全域において地域づくり協議会の設立を目指します。	8	R2	13	15	16		○	23	
	おらっチャ創生支援事業の取組件数	件	地域振興課	自治会や各種団体の主体的な取組みを推進するため、おらっチャ創生支援事業により支援した件数の増を目指します。	10	R2	13	13	12		○	20	
	氷見市ボランティア総合センターに登録した件数(個人及び団体数)	件	地域振興課	NPO・ボランティア活動等の活性化を図るため、氷見市ボランティア総合センターに登録した個人及び団体の合計数の増を目指します。	498	R2	502	494	469		×	528	
IJUターンの促進													
相談窓口や補助制度の充実	氷見市IJU応援センターを通じた移住者数	人	未来戦略課	人口の社会減を抑制するため、氷見市IJU応援センターを通じて氷見市へ移住した人数の増加を目指します。	16	R2	42	45	15		×	40	
	ふり奨学プログラム登録者のうち指定措置を行った人数(Uターン者数)	人	未来戦略課	市外に転出した若者を氷見に呼び込むため、ふり奨学プログラムの指定措置を行った人数の増加を目指します。	29	R2	60	75	88		○	110	
多様な交流の推進													
交流・関係人口の創出・拡大 シティプロモーションの充実	氷見きときとファンクラブ会員数	人	商工観光課	市外在住の方との関係づくりを推進するため、氷見きときとファンクラブ会員数の毎年度400人の増を目指します。	327	R2	1,299	1,696	2,102		○	2,700	
	国際交流イベントの参加者数	人	商工観光課	海外との交流を推進するため、国際交流イベントの参加者数を令和2年度実績より1割増を目指します。	390	R2	1558	1073	1066		◎	430	
	地域ブランド調査における氷見市の認知度順位	位	未来戦略課 (秘書広報課)	氷見市のイメージ向上を図るため、地域ブランド調査の認知度順位の向上を目指します	296	R2	342	334	333		◎	対前年比上 昇	

基本目標													
政策													
施策													
主な取り組み	KGI・KPI・指標名	単位	担当課	指標(目標設定)の考え方	基準値	基準年度	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R5→R6 傾向	R6進捗 状況	R8 (最終目 標)	
働きたいまち													
	納税義務者1人当たり所得	万円	税務課	-	266	R2	254 244	247	243	↘	×	275	
	雇用保険適用事業所の被保険者数	人	未来戦略課 (商工観光課)	-	8,558	R2	8,736	8,681	8,528	↘	×	9,000	
	新規求人数	人	未来戦略課 (商工観光課)	-	3,209	R2	3,903	3,539	3,264	↘	○	5,000	
	新規求人数(フルタイムのみ)	人	未来戦略課 (商工観光課)	-	1,611	R2	2,181	1,966	1,849	↘	○	2,600	
	観光消費額	億円	商工観光課	-	110	R2	191	251	310	↗	◎	200	
食を生かしたまちづくり													
健全で豊かな食生活の実現													
食文化の継承	氷見の伝承料理教室の開催数	回	商工観光課	氷見の食文化を伝承するため、「氷見ならではの食材や食文化」に触れる機会を毎年度1回設けることを目指します。	0	R2	1	1	1	→	◎	1	
食育の推進	お魚さばき方教室の参加者数/年間	人	水産振興課	魚に触れる機会を充実するため、魚のさばき方を教室に毎年40人参加することを目指します。	0	R2	29	28	31	↗	○	40	
	「きときとキッズお料理道場」の開催数	回	商工観光課	園児の食育を推進するため、きときとキッズお料理道場を毎年度13回開催することを目指します。	14	R2	3	11	13	↗	◎	13	
地産地消の促進	氷見の食材を使った料理教室の開催数	回	商工観光課	小中学校等における氷見の食材を使用した料理教室を毎年度14回開催することを目指します。	6	R2	5	12	13	↗	○	14	
	日頃から氷見市の産品を積極的に買っている市民の割合(市民アンケート)	%	未来戦略課	地産地消を推進するため、日頃から氷見市の産品を積極的に買っている市民の割合の増を目指します。	61.5	R2	57.3	59.2	47.8	↘	×	65.0	
	学校給食での地場産食材の使用割合	%	農林畜産課	地産地消を推進するため、学校給食における地場産食材の使用割合を毎年度5%ずつ増やすことを目指します。	11.6	R2	20.9	26.6	18.7	↘	○	40.0	
	学校給食での地場産食材の使用品目数	品目	農林畜産課	地産地消を推進するため、学校給食における地場産食材の使用品目を毎年度1品目増やすことを目指します。	11	R2	15	20	25	↗	◎	17	
食を核とした地域産業の活性化													
氷見ブランドの確立とブランド力の強化	地域ブランド調査の魅力度順位	位	未来戦略課	地域ブランド力向上のため、魅力度ランキングの順位の上昇(対前年度比増)を目指します。	163	R2	195	151	176	↘	×	対前年比上昇	
6次産業化の促進	6次産業化の取組による新商品開発数	品	農林畜産課	新たなブランドの育成を図るため、新商品の開発を支援することにより、特産品数の増加を目指します。	8	R2	13	14	14	→	◎	13	
食の魅力発信の推進													
食の魅力発信の充実	氷見の食に関するイベントの参加者数	人	商工観光課	氷見の食を普及させるため、イベントを開催して、毎年度参加者の250人増を目指します。	12,000	R2	12,000	12,754	13,309	↗	○	13,500	
	都市部で開催する氷見の食に関するイベントの参加者数	人	商工観光課	都市住民との交流・関係人口を拡大するため、首都圏等で実施するイベント参加者数を毎年度500人を目指します。	0	R2	2,636	5,971	9,870	↗	◎	500	

基本目標													
政策													
施策													
主な取り組み	KGI・KPI・指標名	単位	担当課	指標(目標設定)の考え方	基準値	基準年度	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R5→R6 傾向	R6進捗 状況	R8 (最終目 標)	
持続可能な農林水産業の振興													
農業の振興													
魅力ある農業生産基盤づくり 持続可能な経営体制と担い手の 育成強化	ほ場整備実施・完了地区数	地区	ふるさと整備課	農業の生産性を向上させるため、農業基盤整備を実施又は完了した地区数の増を目指します。	7	R2	8	8	8	➡	◎	8	
	鳥獣による人身及び物損被害の発生件数	件	農林畜産課	鳥獣による人身や物損の被害を防止し、被害が発生しないことを目指します。	0	R2	0	0	0	➡	◎	0	
	集落営農組織数	組織	農林畜産課	担い手の確保と農業経営を安定させるため、42集落営農組織を維持することを目指します。	42	R2	42	42	42	➡	◎	42	
	認定農業者等担い手への農地集積率	%	農林畜産課	農業経営の効率化を図るため、担い手への農地集積率の増加を目指します。	47.7	R2	47.9	49.3	49.3	➡	○	60.0	
	環境保全型農業直接支払交付面積	㍖	農林畜産課	環境負荷の低減等を図るため、環境保全型農業に取り組む農地の拡大を目指します。	4,961	R2	4,653	4,333	5,006	➡	○	6,000	
	ドローン講習の受講を支援した人数	人	農林畜産課	ドローンによる農業散布等ICT農業への取組みを増やすため、ドローン技術取得者を毎年度10人支援することを目指します。	14	R2	29	29	30	➡	○	74	
	氷見牛などの飼育頭数	頭	農林畜産課	氷見牛などの市場への安定供給を図るため、飼育頭数を増やすことを目指します。	673	R2	691	637	614	➡	×	800	
エコファーマー数	人	農林畜産課	環境にやさしい農業を普及するため、県のエコファーマーに認定された農業者を2年に1人程度増やすことを目指します。	33	R2	29	17	17	➡	×	36		
林業の振興													
森林資源の適正な管理	森林経営計画の認定面積	ha	農林畜産課	林業生産活動を促進するため、森林経営計画に基づいた森林整備を目指します。	3,261	R2	3,141	2,626	2,929	➡	△	5,661	
ひみ里山杉などの活用促進	氷見産木材の生産量	m ³	農林畜産課	氷見産木材の供給拡大を図るため、新たな植樹で森林が維持できるよう氷見産木材の生産量の拡大を目指します。	12,000	R2	16,165	14,371	15,200	➡	○	25,000	
水産業の振興													
水産業生産基盤の整備	第3種漁港における事業継続計画(BCP)の策定率	%	水産振興課	漁港等の機能の維持、保全を図るため、事業継続計画(BCP)を策定することを目指します。	0	R2	100	100	100	➡	◎	100	
魅力ある水産業の推進	氷見高等学校海洋科学科から水産業への就業者数	人	水産振興課	水産業の担い手を確保するため、氷見高等学校海洋科学科から水産業への就業者数を毎年度2人確保することを目指します。	16	R2	20	21	22	➡	○	28	
	種苗放流魚種の漁獲量(クロダイの漁獲量)	匹	水産振興課	水産資源の保全を図るため、毎年度、令和2年度と同等数の種苗放流を目指します。	63,000	R2	35,000	52,000	55,000	➡	△	63,000	
	種苗放流魚種の漁獲量(ヒラメの漁獲量)	匹	水産振興課	水産資源の保全を図るため、毎年度、令和3年度と同等数の種苗放流を目指します。	24,500	R2	24,500	24,500	24,500	➡	◎	24,500	
	種苗放流魚種の漁獲量(クルマエビの漁獲量)	匹	水産振興課	水産資源の保全を図るため、毎年度、令和4年度と同等数の種苗放流を目指します。	100,000	R2	100,000	100,000	83,000	➡	×	100,000	
商工業の活力が持続・発展するまちづくり													
企業誘致の推進と既存企業への支援													
魅力ある雇用の場を創出する企業等の誘致と設備投資の促進	市内へ進出した企業等への支援件数	件	商工観光課	市内への企業立地を促進するため、支援件数の毎年度1件増を目指します。	0	R2	0	0	1	➡	○	6	
地域産業・企業の支援													
起業・創業、継業の支援	創業件数(事業承継も含む)	件	商工観光課	仕事の創出を図るため、創業者支援事業補助金を活用した創業件数について、毎年度12件を目指します。	7	R2	17	16	6	➡	×	12	
	ビジネスサポートセンターの相談件数	件	商工観光課	市内企業の売上の拡大を図るため、ビジネスサポートセンターへの相談件数の毎年度1,000件を目指します。	850	R2	1,155	1,098	1,082	➡	◎	1,000	
企業の経営基盤の強化・変革への支援	氷見市地場産業育成資金及び創業者支援資金の融資件数	件	商工観光課	稼ぐ産業を創出するため、地場産業育成資金、創業者支援資金で、直近のピークであった令和元年度実績件数8件を毎年度目指します。	1	R2	4	4	2	➡	○	8	
地域内消費の拡大・促進	地域内商品券及び地域電子通貨の販売額	千円	商工観光課	地域内消費を促進するため、「ひみキト商品券」及び「ひみPay」の販売額の毎年度5,000千円の増を目指します。	75,369	R2	137,821	245,061	142,602	➡	◎	90,000	
ふるさと納税の推進	ふるさと納税の寄附額	億円	商工観光課	地域産業の活性化を図るため、過去最高額であった令和2年度実績額4億円を毎年度目指します。	4	R2	6	7	9	➡	◎	4	

基本目標													
政策													
施策													
主な取り組み	KGI・KPI・指標名	単位	担当課	指標(目標設定)の考え方	基準値	基準年度	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R5→R6 傾向	R6進捗 状況	R8 (最終目 標)	
中心市街地の活性化													
まちなかの賑わいの創出	まちなかへの出店件数	件	商工観光課	まちなかの活性化を図るため、まちなかの新規出店数を毎年度6件目指します。	4	R2	8	15	3	→	×	6	
	まちなかでのイベント開催数	回	商工観光課	まちなかの賑わいを創出するため、まちなかでのイベントを毎年度6回開催することを目指します。	4	R2	8	6	13	→	◎	6	
まちなかの居住環境の向上	まちなかでの住宅取得に対する補助件数	件	未来戦略課	まちなかの空き家・空き店舗等の活用を図るため、まちなかの住宅取得に対する支援を毎年度30件目指します。	25	R2	26	24	9	→	×	30	
産業人材の確保・育成													
担い手対策の充実 勤労者福祉の増進と多様な人材 が働き続けられる環境づくり	雇用充足数	件	商工観光課	市内産業の人材を確保するため、令和元年度並みの毎年度700件を目指します。	497	R2	477	503	447	→	×	700	
	従業員の仕事と子育ての両立を図るための 雇用環境の整備に取り組む企業の数	社	商工観光課	働きやすい環境整備を図るため、次世代育成支援行動計 画の策定企業数を毎年度1件ずつの増を目指します。	83	R2	73	67	72	→	△	89	
	氷見市中小企業退職金共済契約掛金補助金 の交付件数	件	商工観光課	保証融資の充実を図るため、直近のピークであった令和 元年度実績件数7件を毎年度目指します。	2	R2	3	0	4	→	○	7	
戦略的な観光の振興													
戦略的な観光振興													
観光PRの強化	観光入込客数	万人	商工観光課	交流機会の創出を図るため、観光入込客数の増を目指し ます。	127	R2	190	216.7	210	→	○	230	
広域・滞在型観光の推進	宿泊数	万人	商工観光課	滞在型観光の推進を図るため、宿泊数の増を目指します。	12	R2	15.5	16.5	19.5	→	○	22	
インバウンド観光等受入体制の 整備	外国人宿泊者数	人	商工観光課	海外との交流機会の創出を図るため、外国人宿泊者数の 増を目指します。	461	R2	121	4,981	3,569	→	○	15,000	
地域資源を生かした魅力ある地域づくり													
氷見らしさの発揮	平均滞在時間	時間	商工観光課	魅力ある観光まちづくりを推進することにより、平均滞在 時間の延長を目指します。	2時間59分	R2	3時間2分	3時間55分	5時間13分	→	◎	4時間	
観光資源の発掘と創造	観光客の平均立ち寄り箇所数	箇所	商工観光課	魅力ある観光まちづくりを推進することにより、平均立ち寄 り箇所数の増を目指します。	1.81	R2	1.88	1.95	2.33	→	○	3.00	
エネルギーの地産地消や再生可能エネルギーの利用促進													
脱炭素化社会の推進													
ゼロカーボンシティの取組の推 進	市域における温室効果ガス排出量	千t-CO ₂	環境保全課	脱炭素化を図るため、市域における温室効果ガス排出量 の削減を目指します。	327.7	R2	316	323	300	→	○	273.3	
省エネルギー化の推進	創エネルギーや蓄エネルギー設備の導入補 助件数	件	環境保全課	二酸化炭素の排出抑制を図るため、創・蓄エネルギー設 備の導入補助件数の増を目指します。	-	R2	1	21	100	→	◎	30	
温室効果ガスの吸収源対策の推 進	木質バイオマスストーブ設置補助件数	件	農林畜産課	森林資源の循環を図るため、市内の住宅等に新たに設置 する木質バイオマスストーブの補助件数8件を毎年度目 指します。	6	R2	4	2	4	→	△	8	
エネルギーの地産地消													
再生可能エネルギーの地産地消 の推進	市内事業所における創エネ設備導入時の補 助金申請数	件	環境保全課	再生可能エネルギーの地産地消を図るため、創エネ設備 を導入する市内事業所数の増を目指します。	-	R2	1	0	0	→	×	4	

基本目標													
政策													
施策													
主な取り組み	KGI・KPI・指標名	単位	担当課	指標(目標設定)の考え方	基準値	基準年度	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R5→R6 傾向	R6進捗 状況	R8 (最終目 標)	
育てたいまち													
	婚姻数	件	未来戦略課	-	137	R1	80	94	93	↘	×	150	
	出生数	人	未来戦略課	-	206	R2	185	145	169	↗	△	230	
	子ども女性比	-	未来戦略課	-	0.169	R2	0.163	0.160	0.1682	↗	△	0.209	
結婚・出産しやすい環境づくり													
結婚の希望をかなえる環境づくり													
結婚に対する支援の充実	「縁結びおせっかいさん」による引き合わせ件数	件	未来戦略課	地域全体で結婚を応援する機運を高めるため、「縁結びおせっかいさん」による男女の引き合わせ件数の増加を目指します。	41	R2	42	24	33	↗	△	45	
出産の希望をかなえる環境づくり													
妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援	出産前後の相談件数	件	健康課	安心して妊娠・出産・子育てができるようにするため、子育て支援包括支援センターへの相談等の件数増を目指します。	1,288	R2	1,483	1,447	1,620	↗	◎	1,500	
	不妊治療助成金の助成件数	件	健康課	出産の希望をかなえるため、不妊治療助成金の助成件数の増加を目指します。	87	R2	51	59	87	↗	○	105	
	市内分娩施設数	施設	健康課	安心して出産ができる環境を確保するため、現在の分娩施設数の維持を目指します。	1	R2	1	1	1	→	◎	1	
仕事と両立できる子育て支援の充実													
子育て支援の充実													
子育て家庭への支援の充実	子育てや教育に不安を感じたとき身近に相談できる人がいる市民の割合(市民アンケート)	%	未来戦略課	子育てなどによる不安の解消を図るため、対前年比増を目指します。	78.2	R2	72.3	70.3	84.3	↗	◎	80.0	
健やかな子どもの成長支援	乳幼児健康診査受診率(3～4か月児)	%	健康課	健やかに子どもを産み育てるため、健康診査の受診率を毎年度100%を目指します。	97.5	R2	100.0	99.4	100.0	↗	◎	100.0	
	乳幼児健康診査受診率(1歳6か月児)	%	健康課		99.5	R2	100.0	99.5	99.3	↘	×	100.0	
	乳幼児健康診査受診率(3歳児)	%	健康課		99.6	R2	100.0	100.0	99.5	↘	×	100.0	
様々な状況の家庭への支援	保護が必要な子どものいる世帯のうち市が支援している割合	%	子育て支援課	保護が必要な子どものいる全世帯に対して支援することを目指します。	100.0	R2	100.0	100.0	100.0	→	◎	100.0	
「市民みんなで氷見の子どもを育てる」意識の醸成	地域子育て支援拠点施設のうち地域の多様な世代との交流事業を実施する施設の割合	%	子育て支援課	地域全体で子どもを見守り育てていく環境をつくるため、交流事業を実施する施設の割合を毎年度100%を目指します。	100.0	R2	100.0	100.0	100.0	→	◎	100.0	
仕事と子育てが両立できる環境の整備													
保育サービスや地域における子育ての支援の充実	待機児童数	人	子育て支援課	仕事と子育ての両立を図るため、引き続き、待機児童が発生しない状態を目指します。	0	R2	0	0	0	→	◎	0	
仕事と子育ての調和がとれる環境づくり	海浜植物園でリカレント教育を受けた女性の数(累計)	人	都市計画課	女性の就業・創業促進につなげるため、海浜植物園における学びの講座の充実を目指します。	172	R2	351	544	880	↗	○	4,700	

基本目標													
政策													
施策													
主な取り組み	KGI・KPI・指標名	単位	担当課	指標(目標設定)の考え方	基準値	基準年度	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R5→R6 傾向	R6進捗 状況	R8 (最終目 標)	
次代を担う子どもの育成													
学校教育の充実													
確かな学力の育成	児童同士がやりとりするようなコンピュータなどのICT機器を活用した取組を行った学校の割合(小学校)	%	教育総合センター	ICTをより有効に活用するために、コンピュータなどを使って児童生徒同士がやりとりするような取組を行った学校の割合を100%に引き上げることを目指します。	40.0	R3	60.0	80.0	80.0	➡	○	100.0	
	生徒同士がやりとりするようなコンピュータなどのICT機器を活用した取組を行った学校の割合(中学校)	%	教育総合センター	ICTより有効に活用するために、コンピュータなどを使って児童生徒同士がやりとりするような取組を行った学校の割合を100%に引き上げることを目指します。	40.0	R3	100.0	60.0	80.0	➡	○	100.0	
豊かな心の育成	道徳の授業で自分の考えを深めたり学級で話し合ったりした児童の割合(小学生)	%	教育総合センター	児童生徒の豊かな心の育成を図るため、道徳の授業で自分の考えを深めたり学級で話し合ったりした児童の割合を90%に引き上げることを目指します。	76.4	R3	75.6	76.9	84.5	➡	○	90.0	
	道徳の授業で自分の考えを深めたり学級で話し合ったりした生徒の割合(中学生)	%	教育総合センター	児童生徒の豊かな心の育成を図るため、道徳の授業で自分の考えを深めたり学級で話し合ったりした生徒の割合を90%に引き上げることを目指します。	74.8	R3	71.5	84.3	92.0	➡	◎	90.0	
健やかな体の育成	体力・運動能力の総合評価技術調査T得点における県平均との差(小学5年男子)	点	スポーツ振興課	児童生徒の健やかな体の育成を図るため、体力・運動能力の総合評価技術調査T得点が県平均を上回ることを目指します。	-0.4	R元	-3.6	1.5	0.42	➡	◎	県平均を上回る	
	体力・運動能力の総合評価技術調査T得点における県平均との差(小学5年女子)	点	スポーツ振興課	児童生徒の健やかな体の育成を図るため、体力・運動能力の総合評価技術調査T得点が県平均を上回ることを目指します。	1.2	R元	0.6	-0.1	2.0	➡	◎	県平均を上回る	
	体力・運動能力の総合評価技術調査T得点における県平均との差(中学2年男子)	点	スポーツ振興課	児童生徒の健やかな体の育成を図るため、体力・運動能力の総合評価技術調査T得点が県平均を上回ることを目指します。	1.3	R元	0.9	2.3	2.6	➡	◎	県平均を上回る	
	体力・運動能力の総合評価技術調査T得点における県平均との差(中学2年女子)	点	スポーツ振興課	児童生徒の健やかな体の育成を図るため、体力・運動能力の総合評価技術調査T得点が県平均を上回ることを目指します。	4.9	R元	4.2	0.6	3.9	➡	◎	県平均を上回る	
良好な教育環境の整備	小・中・義務教育学校における特別教室のエアコン設置率	%	学校教育課	良好な教育環境の整備を図るため、小・中・義務教育学校における特別教室のエアコンの設置率を向上させることを目指します。	27.6	R2	34.3	34.3	34.3	➡	○	48.5	
個別のニーズに応じた教育の充実	市地区相談会における専門スタッフの配置率	%	学校教育課	個別ニーズに応じた教育の充実を図るため、市地区相談会における専門スタッフの配置率の向上を目指します。	70	R2	100	100	100	➡	◎	100	
校種間連携の推進	あなたのところの「富山版 接続期カリキュラム」における「幼保小接続ステップ」は、どこだと思われますかの質問に「ステップ3」以上と答えた割合(小学校等)	%	教育総合センター	幼児教育から小学校教育への滑らかな接続を図るため、幼保小の交流が充実し、接続を見通した教育課程を編成している小学校の割合を80%に引き上げることを目指します。	50.0	R2	20.0	100.0	100.0	➡	◎	80.0	
	あなたのところの「富山版 接続期カリキュラム」における「幼保小接続ステップ」は、どこだと思われますかの質問に「ステップ3」以上と答えた割合(保育所等)	%	子育て支援課(教育総合センター)	幼児教育から小学校教育への滑らかな接続を図るため、幼保小の交流が充実し、接続を見通した教育課程を編成している小学校・保育所等の割合を80%に引き上げることを目指します。	30.7	R2	38.5	100.0	100.0	➡	◎	80.0	

基本目標													
政策													
施策													
主な取り組み		KGI・KPI・指標名	単位	担当課	指標(目標設定)の考え方	基準値	基準年度	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R5→R6 傾向	R6進捗 状況	R8 (最終目 標)
芸術文化や学びの充実													
ふるさと教育の充実													
氷見に誇りと愛着を持つふるさと教育の推進	「氷見市が好きですか」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた人の割合(市民アンケート)	%	未来戦略課	氷見に誇りと愛着の醸成を図るため、「氷見市が好きですか」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた人の割合の増加を目指す。	83.4	R2	83.0	85.0	76.4	↘	×		85.0
郷土の自然・歴史・文化・産業等の活用の推進	市指定文化財の件数	件	文化振興課博物館	自然・歴史・文化遺産の掘り起こしと活用の推進を図るため、適切な未指定文化財の把握・調査を進めるとともに、令和8年度までに指定文化財件数55件を目指します。	51	R2	51	51	51	➡	×		55
生涯学習の充実													
地域の教育力の向上	博物館入館・資料利用者数	人	博物館	地域における生涯学習等を推進するため、令和2年度実績の約1割増の9,000人を目指します。	7,837	R2	8,679	10,261	10,277	➡	◎		9,000
家庭教育支援の推進	小、中、義務教育学校での「親を学び伝える学習プログラム」等を用いた講座の実施率	%	文化振興課	家庭教育の充実を図るため、全学校において年に1度は「親学び」を行うことを目指します。	35.7	R2	78.6	86.7	92.86	➡	○		100
社会教育施設を活用した活動の推進	地域コミュニティ活性化事業(地域特色事業)を実施する公民館数及び事業数	公民館	文化振興課	公民館事業の充実を図るため、地域コミュニティ活性化事業(地域特色事業)を実施する公民館数及び事業数の増を目指す。	10 (公民館)	R2	13	14	13	↘	○		21公民館 50事業
		事業	文化振興課	公民館事業の充実を図るため、地域コミュニティ活性化事業(地域特色事業)を実施する公民館数及び事業数の増を目指す。	25 (事業)	R2	39	47	45	↘	○		21公民館 50事業
芸術文化の振興													
芸術文化活動の推進	市や一般財団法人氷見市文化振興財団が提供した鑑賞機会に参加した人数	人	文化振興課	芸術文化活動を推進するため、市主催事業等に加え、一般財団法人氷見市文化振興財団が提供する鑑賞機会への参加者の増加を目指す。	5,097	R1	39,685	35,971	74,935	➡	◎		10,000
芸術文化の基盤づくり	芸術文化館利用者数(イベント、貸館、講座含むすべての利用者)	人	文化振興課	旧市民会館及び中央公民館、働く婦人の家の機能を集約した芸術文化館の利用者数について、旧市民会館利用者数の倍以上を目指します。	-	R2	70,046	87,083	169,624	➡	◎		100,000
スポーツの推進													
生涯にわたるスポーツを楽しむ環境づくり	基幹スポーツ施設の利用者数(ふれあいスポーツセンター、市民プール・トレーニングセンター、B&G海洋センター及び氷見運動公園)	人	スポーツ振興課	生涯にわたるスポーツを楽しむ環境をつくるため、基幹スポーツ施設の利用者数の維持を目指す。	359,019	H30	272,466	270,383	308,821	➡	△		360,000
競技力の向上のための環境づくり	中学生及び高校生の全国大会出場競技数(全中及び高校総体)	種目	スポーツ振興課	競技力の向上を図るため、少子化が進む中でも水準維持を目指す。	8	R1	6	9	9	➡	◎		8
スポーツを通じた地域活性化の取組	主要なスポーツイベントの参加者数(春中ハンド、姉妹都市とのスポーツ少年団交流、プロスポーツイベント、氷見キョウトウオーキング、サイクリングイベント、大学等の合宿)	人	スポーツ振興課(商工観光課)	スポーツを通じた地域活性化を図るため、主要なスポーツイベントの参加者数の増を目指す。	4,876	R2	19,239	18,218	33,383	➡	◎		27,400
一人ひとりが尊重される社会の実現													
人権尊重社会の形成													
人権の尊重	人権相談の件数	件	市民課	人権を尊重することができる社会づくりを推進するため、人権相談がないことを目指します。	4	R2	3	1	2	↘	○		0
男女共同参画の推進	男女の地位の平等感を感じている市民の割合(家庭)	%	地域振興課	男女共同参画を推進するため、市民アンケートで男女の地位の平等を感じている割合の増を目指す。	30.6	R2	36.8	36.8	35.9	↘	○		40.0
	男女の地位の平等感を感じている市民の割合(社会通念・慣習)	%	地域振興課		10.6	R2	8.5	8.5	10.0	➡	△		16.0
	男女の地位の平等感を感じている市民の割合(職場)	%	地域振興課		29.9	R2	30.2	30.2	29.7	↘	×		40.0
多文化共生の社会の構築													
国際理解の促進	日本語教室への外国人の参加者数	人	商工観光課	外国人が日本への理解を深めるため、日本語教室への外国人の参加者数を令和2年度実績より1割増を目指します。	65	R2	160	100	100	➡	◎		72
国際協力の促進	外国人漁業研修の受入人数	人	水産振興課	国際貢献を図るため、毎年度、30人程度の外国人漁業研修生の受け入れを目指します。	0	R2	9	19	18	↘	○		30

基本目標													
政策													
施策													
主な取り組み	KGI・KPI・指標名	単位	担当課	指標(目標設定)の考え方	基準値	基準年度	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R5→R6 傾向	R6進捗 状況	R8 (最終目 標)	
市民とともにつくる持続可能なまち													
市民主体のまちづくり													
まちづくりへの市民参画の推進													
市政への参画機会の充実	各種市民アンケートの回答率	%	未来戦略課	市民の市政への参画を促すため、各種市民アンケートによる回答率の向上を目指します。	46.2	R2	40.1	41.6	32.6	→	×	50.0	
広報・広聴活動の充実	ホームページの総閲覧件数	件	秘書広報課	市民への情報発信を推進するため、令和8年度までに、閲覧数2,450,000件を目指します。	2,231,570	R2	1,844,568	2,458,946	1,494,632	→	×	2,450,000	
	SNSの登録者数	人	秘書広報課	積極的な情報発信を推進するため、令和8年度までに、登録者数25,000人を目指します。	5,230	R2	14,313	22,268	26,634	→	◎	25,000	
効率的な行政運営													
経営的な視点による持続可能な行政運営													
将来負担を見据えた適正な行政運営の推進	市税の現年度収納率	%	税務課	氷見市行政改革プランの基本計画の数値目標の達成を目指します。	97.6	R2	99.0	98.9	99	→	◎	99.0以上	
	経常収支比率	%	財務課	氷見市行政改革プランの基本計画の数値目標の達成を目指します。	88.0	R2	85.9	86.7	87.5	→	◎	80.0台堅持	
	実質公債費比率(3ヶ年平均)	%	財務課	氷見市行政改革プランの基本計画の数値目標の達成を目指します。	11.3	R2	11.5	11.8	11.7	→	◎	13.0以内	
	将来負担比率	%	財務課	氷見市行政改革プランの基本計画の数値目標の達成を目指します。	63.8	R2	31.7	12.9	4.9	→	◎	63.8以内	
	財政調整基金残高	億円	財務課	氷見市行政改革プランの基本計画の数値目標の達成を目指します。	29.9	R2	34.2	31.5	30.9	→	◎	26.0以上	
	職員力・組織力の向上	自己啓発活動及び通信教育の受講による自主的な研修の受講を完了した職員数	人	総務課	職員の資質の向上を図るため、自主的な研修を受講した職員数の対前年度比増を目指します。	25	R2	19	6	5	→	×	40
		職員数	人	総務課	毎年、職員数の適正化を図り、令和8年度までに、530名を目指します。	542	R2	530	531	535	→	○	530
		時間外勤務時間	時間	総務課	長時間労働の解消を図るため、時間外勤務時間数の削減を目指します。	29,896	R2	30,948	42,483	38,336	→	△	24,700以下
人口減少に対応した公共施設マネジメントの推進	統廃合により減少する公共施設等数	施設	財務課	公共施設マネジメントを推進するため、6つの公共施設等の再編を行うことを目指します。	-	R2	-	-	2	-	-	6	
効率的・効果的な行政サービスの推進													
行政のデジタル化の推進	行政手続きのオンライン化件数	件	秘書広報課	行政のデジタル化を推進するため、令和4年度から、オンライン手続き化件数、27件を目指します。	0	R2	27	27	27	→	◎	27	
市民ニーズに対応した行政サービスの提供	住民票等のコンビニでの交付率	%	市民課	行政サービスの向上を図るため、令和8年度までにコンビニエンスストアでの住民票等の交付率を20%へ引き上げることを目指します。	8.02	R2	20.67	33.96	36.22	→	◎	20.00	
民間活力の活用による事業の推進	企業版ふるさと納税の寄附額	百万円	未来戦略課	民間活力の活用を図るため、企業版ふるさと納税の寄附額を毎年度200百万円になるよう目指します。	2	R2	8.1	122	35.02	→	○	200	
広域、大学連携の推進													
広域行政サービス等の推進													
とやま呉西圏域連携中枢都市圏など都市間連携の充実・強化	とやま呉西圏域連携事業数	事業	未来戦略課	とやま呉西圏域連携中枢都市間での連携を維持強化するため、令和8年度まで30事業を目指します。	28	R2	31	31	31	→	◎	30	
国・県等との連携強化	「ワンチームとやま」で連携して取り組んだ事業数	事業	未来戦略課	富山県との連携を図るため、毎年、「ワンチームとやま」で連携して取り組む事業数5事業の維持を目指します。	0	R2	3	3	3	→	○	5	
大学等との連携強化													
大学等との連携による地域の活性化	連携して取組を行った大学数	校	未来戦略課	大学との連携強化を図るため、令和8年度までに、連携した取組を行った大学を7校へ増やすことを目指します。	4	R2	4	5	6	→	○	7	